



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月10日

上場会社名 チタン工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4098 URL <http://www.titankogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 松川 正典

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 重永 俊雄

TEL 0836-31-4155

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,289	11.1	△100	—	△196	—	△176	—
25年3月期第3四半期	3,859	△16.1	26	△94.1	△23	—	665	61.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△5.88	—
25年3月期第3四半期	22.12	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
26年3月期第3四半期	11,476		5,191		45.2
25年3月期	11,377		5,358		47.1

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 5,191百万円 25年3月期 5,358百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	13.1	△90	—	△170	—	△180	—	△5.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	30,276,266 株	25年3月期	30,276,266 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	170,957 株	25年3月期	166,613 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	30,107,991 株	25年3月期3Q	30,112,266 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府による積極的な経済対策や日本銀行の金融緩和策を受けて、緩やかながら景気回復の動きが見られましたものの、欧州の債務危機問題や消費税増税後の景気減速懸念など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもとで、当社は、3カ年の新中期事業計画に基づき、基盤事業の再強化、コア事業の規模拡大及び新規事業の育成を通じて、持続的な成長に向けた収益基盤の確立に取り組んでまいりました。

その結果、既存製品の需要回復及び新製品の採用決定などの成果により、当第3四半期累計期間の売上高は、前年同期を上回る4,289百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

一方、損益面につきましては、製品在庫の圧縮を目的とした設備稼働率の抑制による売上原価の上昇及び原燃料価格の値上がりなどにより、営業損失は100百万円（前年同期は営業利益26百万円）、経常損失は196百万円（前年同期は経常損失23百万円）となりました。また、特別損失として固定資産除却損を計上いたしました。また、チタン酸リチウムの増産投資に対する山口県の補助金収入を特別利益に計上いたしましたので、四半期純損失は176百万円（前年同期は四半期純利益665百万円）となりました。

なお、当社は、これまで超微粒子酸化チタンをコア事業と位置づけ、新製品の開発及び既存製品の拡販に鋭意取り組んでまいりました。超微粒子酸化チタンは、UVカット化粧品やトナー外添剤に使用され、今後も旺盛な需要が見込まれますので、事業規模の拡大を図るため、昨年11月に増設工事を着工し、平成26年6月から増設設備での生産を開始する予定であります。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(酸化チタン)

酸化チタンにつきましては、一部ユーザーでの在庫調整が一段落し、出荷数量が増加いたしました。高付加価値品の超微粒子酸化チタンにつきましては、UVカット化粧品向け及びトナー外添剤向け新製品の採用が決定し、出荷数量が増加いたしました。新規事業のチタン酸リチウムにつきましては、当初の予想は下回るものの、対前年同期比で出荷数量が増加いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は2,787百万円（前年同期比17.3%増）となりましたが、チタン酸リチウムの増産投資に伴う減価償却費などの固定費負担の先行及び原燃料価格の値上がりなどにより、営業損失は69百万円（前年同期は営業損失8百万円）となりました。

(酸化鉄)

酸化鉄につきましては、鋭意、拡販に注力いたしました結果、化粧品向け新製品の採用決定及びトナー向け新製品の出荷回復により、出荷数量が増加いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,470百万円（前年同期比1.7%増）となりましたが、設備稼働率の抑制及び原燃料価格の値上がりなどにより、営業損失は45百万円（前年同期は営業利益18百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産につきましては、商品及び製品、機械及び装置などの減少があったものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金、投資有価証券などの増加から、当第3四半期会計期間末11,476百万円と前事業年度末に比べて99百万円増加いたしました。

負債につきましては、1年内返済予定の長期借入金、未払法人税等、賞与引当金などの減少があったものの、支払手形及び買掛金、短期借入金などの増加から、当第3四半期会計期間末6,285百万円と前事業年度末に比べて266百万円増加いたしました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の増加があったものの、四半期純損失の計上、配当金の支払いによる利益剰余金の減少などから、当第3四半期会計期間末5,191百万円と前事業年度末に比べて167百万円減少いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、現時点では平成25年11月14日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位: 百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	667	759
受取手形及び売掛金	1,229	1,590
商品及び製品	1,300	1,150
仕掛品	484	500
原材料及び貯蔵品	463	459
その他	248	41
流動資産合計	4,394	4,501
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,518	1,472
機械及び装置(純額)	3,803	3,570
その他(純額)	591	664
有形固定資産合計	5,913	5,707
無形固定資産	2	5
投資その他の資産		
投資有価証券	626	824
その他	453	448
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	1,068	1,261
固定資産合計	6,983	6,974
資産合計	11,377	11,476
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	522	599
短期借入金	900	1,000
1年内返済予定の長期借入金	588	476
未払法人税等	66	4
賞与引当金	73	25
その他	388	626
流動負債合計	2,538	2,732
固定負債		
長期借入金	2,233	2,222
退職給付引当金	867	831
資産除去債務	3	3
その他	376	495
固定負債合計	3,480	3,553
負債合計	6,019	6,285

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	292	292
利益剰余金	1,446	1,148
自己株式	△32	△33
株主資本合計	5,150	4,851
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	208	339
評価・換算差額等合計	208	339
純資産合計	5,358	5,191
負債純資産合計	11,377	11,476

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	3,859	4,289
売上原価	3,238	3,776
売上総利益	621	513
販売費及び一般管理費	594	613
営業利益又は営業損失(△)	26	△100
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	11	12
受取補償金	—	8
その他	14	16
営業外収益合計	26	37
営業外費用		
支払利息	53	44
減価償却費	—	71
その他	22	18
営業外費用合計	76	134
経常損失(△)	△23	△196
特別利益		
補助金収入	961	37
特別利益合計	961	37
特別損失		
固定資産除却損	8	13
投資有価証券評価損	17	—
たな卸資産評価損	190	—
特別損失合計	216	13
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	722	△173
法人税、住民税及び事業税	56	3
法人税等合計	56	3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	665	△176

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	酸化チタン	酸化鉄	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,375	1,446	3,822	37	3,859	—	3,859
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,375	1,446	3,822	37	3,859	—	3,859
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△8	18	9	16	26	—	26

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	酸化チタン	酸化鉄	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,787	1,470	4,257	31	4,289	—	4,289
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,787	1,470	4,257	31	4,289	—	4,289
セグメント利益又は損失(△) (営業損失(△))	△69	△45	△114	13	△100	—	△100

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

以上